

株式会社JUGAAD サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
北広島中央支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社JUGAAD	
代 表 者 名	成田 一博	
所 在 地	<ul style="list-style-type: none">本社 札幌市清田区清田 7 条 4 丁目 3-29北広島工場 北広島市島松 230-18	
資 本 金	500 万円	
従 業 員	3 名 (2025 年 7 月現在)	
業 種	産業用機械修理販売業	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">建設機械、電動工具、その他各種機械の修理サービストンネルゲート、シートシャッター製造事業	
沿 革	2022 年 2025 年	当社設立(資本金 2 百万) 資本金 5 百万へ増資

2. 経営理念

経営理念

お客様と社員が物心ともに
人生の豊さを感じ取れる環境を目指す。

株式会社JUGAADは、経営理念の実現に向け、確かな技術と迅速な対応を常に心がけ、お客さまのニーズに応じた最良のサービスを提供している。これらの行動の積み重ねが、社会貢献に繋がり、お客さまから選ばれる企業となる重要な行動指針と捉えている。

そして、この事業活動を通じ、社員も物心ともに人生の豊かさを実感できる企業であり続けることを使命としている。

3. 事業概要

株式会社JUGAADは札幌市清田区に本社を置く企業。札幌市清田区のほか、北広島市にも営業所を構え、建設機械をはじめとした各種産業用機械の修理販売・レンタル事業を営んでいる。機械の修理に関しては電動工具から重ダンプ等、大小様々な機械修理が可能であり、幅広いニーズを捉えることが可能となっている。

2023 年には新事業であるトンネルゲート製造事業を開始した。トンネルゲートはトンネル工事現場において、防音、防湿、防熱、防水、防埃の観点からトンネル入り口に設置するドアのようなもの。従来、トンネルの出入り口を閉鎖するトンネルゲートは「バルーンシャッター式」が主流で、ゲート全体を膨らませる送風機が常時必要となり、多くの電力を消費することや、シャッターの開閉作業を人力で行う必要があるという難点があった。当社が扱うトンネルゲート「SUN'S GATE(サンズゲート)」は、トンネルのコンクリート面にゲートを圧着させる際にのみ電力を使用し、シャッターの開閉はセンサー感知により自動開閉できる仕組みを採用している。そのため、従来5分程度要していた開閉作業を、10秒程度に短縮し、送風機の常時稼働が不要となることで大幅な省エネルギー化を実現している。「SUN'S GATE」はエネルギー効率と生産性の向上を同時に実現し、持続可能な社会インフラの整備に貢献するトンネルゲートといえる。

■ 重ダンプ修理の様子



■ トンネルゲート「SUN'S GATE」



出所：株式会社JUGAAD 提供資料

株式会社JUGAADは経営理念にも掲げているように、お客さまと同じように当社で働く従業員も物心ともに人生の豊さを感じ取れるよう、業務上の充実はもちろん、プライベートも充実できるように会社全体で有給を取得しやすい環境を整備している。具体的には有給取得のルールや取得日数を可視化することで従業員へ周知している。さらに、繁忙期には関連会社との連携により業務を平準化させる仕組み作りを行っている。

■ 社員の業務外の様子「左:BBQ、右:野球」



出所：株式会社JUGAAD 提供資料


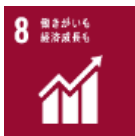
4. サステナビリティ目標

株式会社JUGAADの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社JUGAADの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社JUGAADのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。